

新鴨川市が誕生

新設合併は県内初

鴨川・天津小湊の両市町が合併し「新鴨川市」として生まれ変わった。県内のいわゆる「平成の大合併」としては二〇〇三年の旧野田市と旧鴨川市の編入合併以来、五日だが、新設合併は初めて、新市の本庁舎となった鴨川市役所大会議室で開庁式が行われたが、新市長就任後改めて記念式典が行われることから、式典は簡潔に行われた。



写真 コラージュ作品「コムグラフィ」の贈呈を受ける本多・旧市長（左）と片桐・市長職務執行者

新たな自治体として生まれ変わることで、十日付で本多利天市長、片桐有町町長ら旧四役が退任。新たに市長職務執行者として初登壇した片桐有町町長が、会議室に集まった市議会議員、保長以上の職員ら約五百五十人に「私はいわば数機の留守を守る城代家」と前置き、「行政のプロである皆さんは新しい市のため、心を新たに、地域活性化と市民に携わるまらづくりを進めてほしい」とあいさつした。

同日は天津小湊小湊支所となった旧天津小湊支所でも支所開庁式が行われた。

また、合併を祝うイベントとして旧鴨川市と旧天津小湊町の旗合を再現した。児童による写真コラージュ作品「コムグラフィ」の披露が市役所大ホールで始まったほか、新市の東西両端を出発した旧市町の市民約三百人が

海岸線を歩いて、開市地点に集合する「わがまちウォーク」が行われ、新市長誕生を祝った。

新鴨川市は将来像を「自然と歴史を活かした観光・交流都市」とし、恵まれた自然環境や景観の活用を図りながら、保健医療や福祉の充実、情報ネットワーク推進により、今後、両岸線の広域交流拠点としてまきわしい都市基盤づくりを目指す。

海線線を使って、開市地点に集合する「わがまちウォーク」が行われ、新市長誕生を祝った。

長選挙は同日開かれた選挙管理委員会、三月六日告示、十三日投票開票と決まった。今年十六日に立候補者予定者説明会が行われるが、今年でこのころ本多・旧市長（もと）以外の立候補者はいない。

新市の議員定数は旧市町合併の特例により来年五月三十一日まで、天津小湊の十六を合わせ三十六となるが、その後は定数二十となる。

新市長誕生に待つ鴨川市

旧日新市としてスタートと東佐町も来月には、その結果、今年度中、三芳、白旗、千倉、丸（太宰津市）がある。は来月二十八日の柿山、和道の両町が合併して、は来月二十八日の柿山、和道の両町による新設合併が行われる。その結果、今年度中、三芳、白旗、千倉、丸（太宰津市）がある。

中心市抜け町村が結束

第2ステージ迎えた合併

第二ステージを迎えた。これまでは合併に向けた動きは熱気取り、取り残される・脱出・千島田町では、新市「新市」第二ステージの合併の結果を受け、合併の中心市を失った町村に、来月二十八日の柿山、和道の両町による新設合併が行われる。その結果、今年度中、三芳、白旗、千倉、丸（太宰津市）がある。

中心市を失った町村に、来月二十八日の柿山、和道の両町による新設合併が行われる。その結果、今年度中、三芳、白旗、千倉、丸（太宰津市）がある。

中心市を失った町村に、来月二十八日の柿山、和道の両町による新設合併が行われる。その結果、今年度中、三芳、白旗、千倉、丸（太宰津市）がある。

中心市を失った町村に、来月二十八日の柿山、和道の両町による新設合併が行われる。その結果、今年度中、三芳、白旗、千倉、丸（太宰津市）がある。

中心市を失った町村に、来月二十八日の柿山、和道の両町による新設合併が行われる。その結果、今年度中、三芳、白旗、千倉、丸（太宰津市）がある。